

官民共創による政策実現のためのコミュニティ等企画運営業務 委託事業者公募に係る質問への回答

令和8年3月13日 群馬県戦略企画課未来創生室

No.	質問	回答
1	<p>仕様書に記載されたシステム機能（ユーザー登録、投稿・投票、セキュリティ対策、閲覧制限等）を満たしている場合、独自開発のプラットフォームではなく、SlackやDiscord等の既存コミュニケーションプラットフォームを活用した提案は可能でしょうか？</p> <p>既存プラットフォームの活用により、システム構築費を抑えた「低コスト」な運用と、若年層を含む「より多くの方の参加」を両立できると考えております。</p>	<p>既存コミュニケーションプラットフォームの活用を排除するものではありません。既存のコミュニケーションプラットフォームを用いる場合であっても、仕様書内に記載されたシステム機能（ユーザー登録、投稿・投票、セキュリティ対策、閲覧制限等）をどのように満たすかを具体的に示していただく必要があります。</p>
2	<p>業務内容に含まれる「有識者の募集及び参加」に関し、有識者へ謝礼や旅費等の諸経費が必要になった場合、本業務の委託料（予算限度額内）に含めるべきでしょうか。それとも、県が別途直接支出される計画でしょうか？</p>	<p>有識者への謝礼や旅費等の諸経費が必要になった場合は、本業務の委託料（予算限度額内）に含めてください。</p>
3	<p>審査基準に「本業務と同種・類似業務の十分な実績」とありますが、群馬県内だけでなく、他県や民間セクターにおけるオンラインコミュニティ運営の実績も評価（加点）の対象となりますでしょうか？</p>	<p>群馬県内だけでなく、他県や民間セクターにおけるオンラインコミュニティ運営の実績も評価の対象となります。</p>
4	<p>コミュニティ活性化のための広報施策において、群馬県が既に運用している公式SNSアカウント（X、LINE等）での告知や周知協力を依頼することは可能でしょうか？</p>	<p>コミュニティ活性化のための広報施策について、群馬県が既に運用している公式SNSアカウント（X、LINE等）での告知や周知協力を依頼していただくことは可能です。</p>